

## 近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会（第1回） 議事概要

開催日時：平成19年11月26日（月）10時30分～12時00分

場 所：ホテル京阪 京都 2階 桜の間

出席委員：8名

1. 決定事項
2. 審議  
委員会規約  
委員長選任  
委員会の公開
3. 平成19年度審議対象ダム等の概要説明  
真名川ダム  
布目ダム  
加古川大堰  
猿谷ダム  
質疑応答
4. その他

### 1. 決定事項

- ・資料 - 3 「近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会規約（案）」は、「（目的）第3条」の調査項目の例示に「利水補給」を追加することで了承された。
- ・本委員会の委員長に、京都大学大学院工学研究科教授の椎葉委員が選任された。
- ・資料 - 4 「近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会 公開の考え方（案）」が了承された。

### 2. 審議の概要

#### 委員会規約

事務局より、資料 - 3 「近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会規約（案）」について説明がなされた後、委員から「（目的）第3条」の「洪水調節実績、環境への影響等の調査及びその調査結果の分析と評価」に「等」で読めるかもしれないが「利水補給」はダムの主たる目的のひとつであるから追加するべきとの意見があった。

「利水補給」を追加する。（事務局）

#### 委員長選任

本委員会の委員長は委員間の互選により、京都大学大学院工学研究科教授の椎葉委員が選任された。

#### 委員会の公開

事務局より、資料 - 4 「近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会 公開の考え方（案）」

について説明がなされ了承された。

### 3. 平成 19 年度審議対象ダム等の概要説明

事務局より資料 5 - 1「真名川ダムの概要」、資料 5 - 2「布目ダムの概要」、資料 5 - 3「加古川大堰の概要」、資料 5 - 4「猿谷ダムの概要」について説明がなされた後、委員から質疑応答がなされた。主な内容は、以下のとおりである。

- ・ 布目ダムの水質の負荷源は分かっているのか？  
流域に茶畑が広がっているため、その負荷が大きいと思われる。(事務局)
- ・ 加古川の塩水は、どこでとまっているのか？  
河口から 4 km のところにある古新堰堤でとまっている。(事務局)
- ・ 水環境をまとめるにあたって、以下の視点に留意して欲しい。  
ダム貯水池のみでなく、下流河川の変化  
ダム建設前後のデータがある場合は、ダムによる影響の比較分析・評価  
分析・評価の視点は、環境基準以外の栄養塩濃度やクロロフィル a 量などの変化、ダムの濁り、温度変化および富栄養化の問題に対する下流河川への影響、下流に対する利水障害、景観障害の有無および生態系の変化をみるべき。  
水質対策施設の設置目的に対する効果の発現状況を分析・評価に用いたデータや現状把握していることを含めた整理。評価できるデータがない場合は、今後のモニタリング計画。  
選択取水の取水位置の整理。
- ・ 猿谷ダム流域内の九尾流域と川原樋川流域は、どちらに流れる流域なのか？  
いずれも熊野川流域であるが、九尾流域は、発電を介して猿谷ダムの下流に放流されているため、平常時はダム湖に流入しない。川原樋川流域は、猿谷ダム下流で合流する流域であるが、ダム湖に注水している。(事務局)
- ・ 利水による放流が流域外に渡っている場合には、それぞれ個別の検討を行うこと。
- ・ フォローアップの評価では、ダム周辺の人口動態や社会環境を含めていくことになっているが、本日の資料では記載が少ない。
- ・ 九頭竜川では足羽川ダム建設があるが、今後足羽川ダムが完成して地域がどう変わるのかを考える上でも、真名川ダムの分析は重要である。福井豪雨時の洪水被害に対する効果発現状況や、下流域での被害の比較も含めて幅広く資料を整理して欲しい。
- ・ 真名川ダムの発電が大野市に供給されていると理解すれば良いのか。余った分はどうなっているか？  
大野市の世帯数が 11,000 ぐらいあり、これぐらいの電力を発生しているということ为例えとして説明したが、実際には北陸電力(株)が供給しており、大野市に特定して電気を送っているというわけではない。(事務局)
- ・ 農業用水も農業政策の大転換の時期でもあり、今後も農業用水を補給していく中で必要なものだと言い続けるだけの効果がどれだけあるのか？公共工事全般としては、どれぐらい連携をして、農業政策での連携をどのように行っているのか？  
農業用水は、平成 14 年に水量の見直しを行っている。宅地化等により、水利権量を

変更して若干減になっている。(事務局)

#### 4. その他

- ・今年度の委員会は、今年度審議対象 4 ダムのうち、2 ダムずつ 2 回に分けて開催する予定である。
- ・委員による現地視察を、真名川ダム 11/30、加古川大堰 12/19、猿谷ダム 1/8、布目ダム 1/10 に予定している。

以 上